

決算に対する討論

平成27年度決算は、一般会計は賛成多数、その他4特別会計は全員賛成により認定されたが、5名の議員が会派を代表して、同決算に対する賛成・反対討論を行いました。その概要は次のとおりです。

志桜会

賛成

○一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽30年来の悲願であった西口まち開きや中央図書館のリニューアルオープンなどのハード面、特定不妊治療・不育症の助成や教材費無償化などのソフト面により、地方創生の時代を生き抜く上で本市は更なる進化を遂げた1年となりました。▽市税が4年連続で増加し、27年度決算を見ても堅実な財政状況が堅持されていると判断します。今後も厳しい時代が予測される将来を見据え、市債と基金の効果的な活用を期待します。▽「輝け！未来へ！はばたくえびなっ子」をテーマに子育て施策の充実が行われ、中学3年までの子ども医療費無償化の継続や学童保育の予算増など大いに評価します。小中一貫教育やコミュニティスクールに向けた事業展開も図られ、全校実施に向け更なる推進を期待します。▽道路行政において執行率の低さの指摘もありましたが、継続事業に関しても着実に進められるよう要望します。▽人口減少社会に対応するため、綾瀬市、座間市との広域連携は消防のみに限らず、さまざまな連携をされるよう期待します。▽PDCAサイクルを回し、将来を見据えた目的達成に向け、各種事業に取り組みられるよう要望します。

いちごの会

賛成

○一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽本市は、鉄道三線が通る交通の要所という好立地に恵まれ、海老名駅周辺は今後とも人口が増え、税収増が見込まれます。本市が持っている高いポテンシャルを生かしたまちづくりを、市民と共に進めていくことに期待しています。▽昨年度、10億円を超える事業費をかけて大規模改修した図書館ですが、存続の声が多かった自動車文庫は廃止されてしまいました。民間の力を活用し、市民サービスを向上させること、コスト削減をすることが指定管理者制度導入の本旨であると思いますが、指定管理者制度導入以前の2013年度の図書館維持管理経費は約1億6千万円であり、昨年度決算の指定管理料は約4億1800万円となり大幅なコスト増です。開館時間の延長や休館日がなくなったことを理由にあげられますが、市民は本当に納得できるでしょうか。指定管理者制度を導入して、費用がかり、サービス低下をしては本末転倒です。今後ますますの市民一人ひとりに寄り添ったきめ細かな対応を求めるとともに、公共の図書館であることの意味を市民と共に考えていけるような図書館協議会のような仕組みを再度作っていくよう求めます。



市立中央図書館

創新海クラブ

賛成

○一般会計決算および4特別会計決算について賛成します。

▽平成27年度は一般会計決算の歳入で425億4110万円、前年度比3.2%の減少となっております。▽歳出は411億1505万円と前年度比2.8%の減少となっておりますが、義務的経費188億5400万円のうち、扶助費94億3700万円が4.4%と大きく増加しており、平成26年度から引き続き増加となっております。社会福祉費や児童福祉費の増加であり、障がい者自立支援給付によるサービスも続いております。▽市債の発行額は37億1600万円、前年度より11億8600万円減少しました。ただし平成27年度末の市債残高は274億6366万円となり、前年度より14億9331万円、5.8%増加しております。これは、単年度の市債発行は減らせたが、過去からの累積分、すなわち平成26年度までの将来を見据えた都市基盤整備の財源として市債を活用した結果で、財政危機につながるものではないと受け止めております。結果、ビナスポ建設、海老名駅西口地区開発など完了しました。▽今後、歳入歳出のバランスのとれた弾力性ある市政運営を期待します。



ビナスポ